

SSH 生徒研究発表会 in 神戸国際展示場 8.6~8.8

スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に参加しました。

全国のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている高校が集う発表会で、8月6日～8日に兵庫県神戸市の国際展示場で開催されました。

本校を代表して、3年生理系2コース選択者の研究班から生物研究班が参加しました。

柏崎高校代表 参加研究班

【テーマ】

海水温上昇が生物に与える影響

【班メンバー】

・小山 蒼樹 ・佐藤 実萌吏 ・高橋千紘

地球温暖化に対して警鐘が鳴らされる昨今、海水温も少しずつ上昇しており、海洋生物はもちろん、ひいては陸上の生物全般にも大きな影響を及ぼすのではないかと。

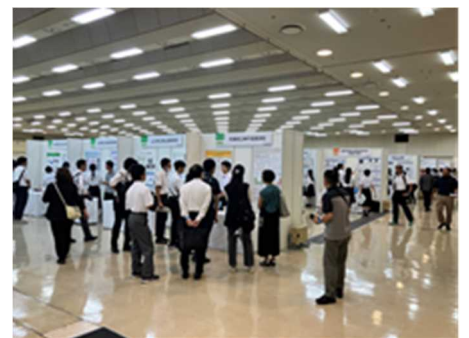
そんな疑問から始まり、1年生の3学期から計画、2年生から本格的に研究をスタートさせました。実験で用いたのは“アルテミア”で、その昔“シーモンキー”という名でブームにもなった動物プランクトンです。食物連鎖の中でも土台の一部である動物プランクトンの孵化・成育に温度がどのように影響するか調べました。この学年が研究を本格化させた2年時は、本校 SSH 採用が保留・経過措置校とされた1年間であり、予算も限られる中での研究でした。温度の影響を研究したいのですが、温度管理をする培養装置もない、生物室はエアコンもなく夏は灼熱という条件の中でのスタート。それなら夏は高温の影響、冬は低温の影響を調べようなどと、工夫を重ねて活動しました。放課後、2日ごとにメンテナンスや記録をするも、謎の大量死が起こるなど、苦勞をしつつも一定の結論を得ることができました。

本発表会がこの研究の最後の発表の場です。2日間で25回の発表を行いました。全国から集まった他校のポスター発表に圧倒され、全体会では優秀校に選出された学校のプレゼンテーションに感心し、刺激に満ちた3日間となりました。最後に参加生徒の感想を掲載いたします。

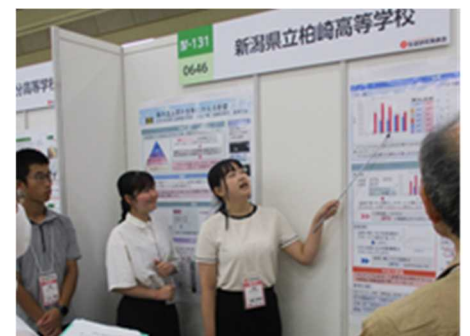
「(私たちの)発表をする度に、その後活発な質疑応答になり、すごく刺激的でした。」

「現代社会が抱えている問題から、地域に根ざした研究など、知識を深める良い機会となりました。」

「工夫をこらした実験方法に、こんな実験方法があるんだ！と、とても勉強になりました。」



ポスター発表会場



本校発表



全体会会場